

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：1組1班



インタビュー先：

公益財団法人まちづくり公社

インタビュー先について：

前橋のイベントを支える

インタビュー内容

Q：理想の前橋はなんですか。

A：若い人たちに興味を持ってもらえるような前橋

Q：今の前橋に新しい施設やイベントを作るとしたらどのようなものですか。

A：大きなお店だけでなく、キッチンカーなどの小さなお店を増やして、色々な人に楽しんでもらいたい

Q：前橋に来た人にどのような気持ちを持ち帰ってほしいですか。

A：また来たい、楽しかったという気持ち

Q：前橋の強みはなんですか。

A：県庁がある、民間主導で開発を進めている、新しく来た若い人と昔からまちなかにいた人の融合

自分たちが感じたことについて

・魅力

個性豊か

幅広い世代が受け入れられるまち

・どうすればより良くなると思ったか

全体的に明るくする

インターネットを使った幅広い宣伝

強みがほしい

・課題

駅から遠い

お店が少ない

暗い

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

均一のとれたまち

有名になってほしい



アーツ前橋

○作成:1組2班



○自分たちが感じたこと

今回アーツ前橋にインタビューしてみてアーツ前橋が取り組んでいることや今の前橋市に足りないことなど、詳しいことを聞くことができました。今まであまり関心を持たなかったまちなかですが、インタビューや商店街巡りを通して地域の人たちと関わりをもつことができました。

◎アーツ前橋とは

前橋に関係する美術品や地域と深く関わってイベントを行っている美術館

○インタビュー内容

Q 働こうと思ったきっかけ

A.高校時代に元々建っていた西武デパートに通っていたから。

Q 仕事内容とやりがい

A.教育の普及や市との連携、子供達とのふれあい

Q 来場者に特に見てほしい作品

A.南條一夫さんが作成した作品

Q 今と昔のまちなかの雰囲気の違い

A.平成中期までは賑やかだったけれど、店を置むところが増えてシャッター街となってしまった

Q 今後扱いたい作品と前橋とのつながり

A.国際的なつながりを持たせるほか、子供でも立ち寄りやすいものにしていきたい

Q 今の前橋市に足りないこと

A.シャッター街の多さ、市との連携

○前橋にこうなってほしい

明るく活気があり、大人子供関係なく触れ合える雰囲気のある街になってほしい

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：1組3班



インタビュー先：

本の家2

インタビュー先について：

店員さんたちがやさしい
かわいい絵本屋さん

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：食べ物以外でももう少し魅力のある街になるといいなと思っています。

Q：絵本専門店にしようと思ったきっかけは何ですか。

A：お店の方が絵本がもともと好きだったからです。

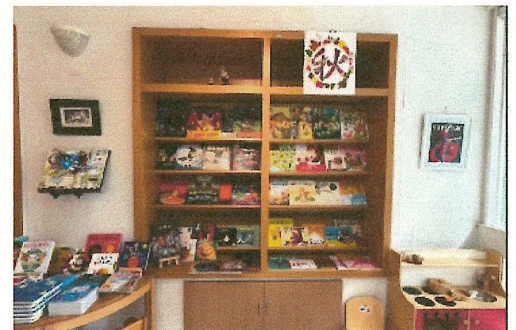
Q：前橋店と高崎店の違いは何ですか。

A：特に大きな違いはなく、高崎店を参考にしました。

Q：まちなかに建てようと思ったきっかけは何ですか。

A：少し前のまちなかはシャッターが多くにぎわいを取り戻したいと思ったからです。

↓ 季節のコーナー



自分たちが感じたことについて

・魅力

どの年代の人も楽しめる

月1回読み聞かせなどのイベントがある

・どうすればより良くなると思ったか

本を購入するとしおりなどのおまけがつくともっと本を読んでもくれる人が増えると思う

・課題

食べ物以外の魅力が少ない

子どもたちの遊べる場所が少ない

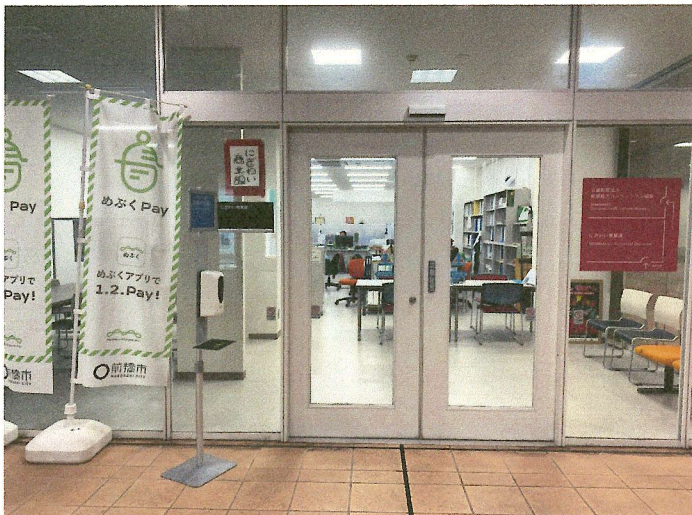
定休日が被っていることが多い

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

イベントなどを開催し、年代関係なく楽しめるまちにしていきたい

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：1組4班



インタビュー先：

にぎわい商業課

インタビュー先について：

ふわりと寄り添う
マチスタント

インタビュー内容

Q.今の前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A.前橋市を面白いと思う人が少ないこと

Q.最近企画したイベントは何ですか。

A.ブックフェスとレンガ蔵マルシェ

Q.今までで一番大変だったことは何ですか。

A.お仕事とプライベートの両立

Q.どういう思いでまちづくりをしていますか。

A.企画者の方たちが気持ちよく開催できるよう心がけている



自分たちが感じていたことについて

・魅力

オーナーさんたちのつながりでお店同士が
コラボしたりと、フレンドリーなコミュニティ
チェーンではなく個人店である唯一無二感！

・どうすれば良くなると思うか

新しくできたお店を宣伝する
中高年向けのお店を増やす

・課題

足を運ぶ人が少ない
年齢層に偏りがある

私達は前橋市の

まちなかからにぎわいを浸透させてほしい！！

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：1組5班



インタビュー先：鈴木ストア

インタビュー先について：

おばさまからお子様まで。
愛される何でも屋。

インタビュー内容

Q：お客さんの年齢層はどのくらいですか？

A：60~70代のおばさまから、小学生もたくさん来る

Q：猫雑貨が多い理由はなんですか？

A：お客様からの強い要望や店員さんが猫好き

Q：化粧品、雑貨、エステ、婦人服で最も人気があるのはなんですか？

A：化粧品

Q：中高生にやってほしいことはなんですか？

A：高校生、大学生の頃はチャンスだから色んな人と積極的に関わって出会いを見つけてほしい。商店街の変化を探してほしい。商店街にもっと足を踏み入れてほしい。

自分たちが感じたことについて

・魅力

店員さんがとても穏やかな方でお客さんの意見を取り入れてくれるお店。

・課題

シャッターが多かった

建物が古かった

人が少し少なかった

・どうすればより良くなると思ったか

お店の定休日が被っているとその日に来たお客さんが楽しめないと思ったので定休日をずらしたほうがいつ来ても楽しめると思った。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

ずっと前橋で過ごしたくなるような街
並みと暖かい人々で溢れるような街に
なってほしい！！！！！！



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：1組6班



インタビュー先：

SHIROIYA the BAKERY

インタビュー先について：

個人的五つ星のパン屋

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思えますか。

A：若い人が少ない

Q：店1番のこだわり

A：素材へのこだわり、丁寧に作ること

Q：お客さんの年齢層について

A：周辺に住んでいる30~50代の主婦層が多い
リピートしてくれる人も多い



Q：技術やインスピレーションについて

A：新しいものを作るときはパン以外のものをアイデアに使う

自分たちが感じたことについて

・魅力

値段以上の味と見た目

シンプルでスタイリッシュな見た目

外観のデザインに目がとまる

甘味処が多い

・ どうすればより良くなると思ったか
お店の存在をもっとわかりやすくする
定休日をずらす

・課題

若い人が立ち寄るきっかけが少ない

せっかくのお店が隠れている

商店街の入口付近に新しいお店を増やす

・ 私たちは前橋にこうなって欲しい！
若い人が気軽に立ち寄れるような商店街
になってほしい

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：1組7班



インタビュー先：

ハルナ眼鏡

インタビュー先について：

売らない眼鏡のハルナ

店主：伊東さん

お客さんとともに納得のいく
メガネを作っています！

インタビュー内容

Q：お店に来るお客さんの年齢層はどのくらいですか

A：50~80歳くらい

Q：数少ない老舗としてメガネを作る際のこだわりはありますか

A：自分の目のことについて知ってもらってから売る

Q：前橋の街の人にとってどんな存在でありたいと考えていますか

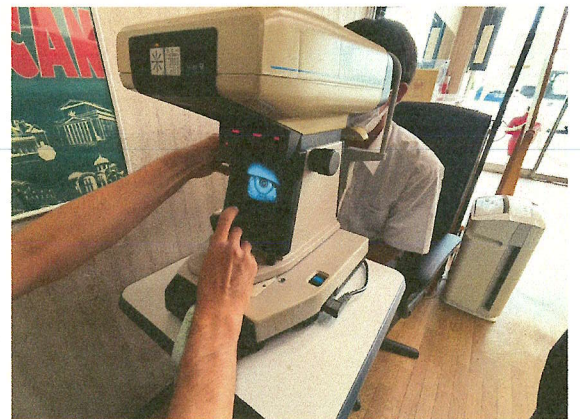
A：頼りがいのある存在でありたい

Q：今の前橋市に足りないことは何だと思えますか

A：情報の共有が足りない

Q：前橋市のためにしていることはなにかありますか

A：トイレマップ！



自分たちが感じたことについて

・魅力

イベントや祭りも多く、
地域の絆を感じられるのが魅力

・課題

若者が遊べる場所が少ない
町の中に空き家が増えており、
景観が悪くなっている点

・どうすればより良くなると思ったか
町について批判的な意見を出す

・私たちは前橋にこうなって欲しい！
高齢者も若者も楽しめる街になってほ
しい

R6 まちなかりサーチ 報告書

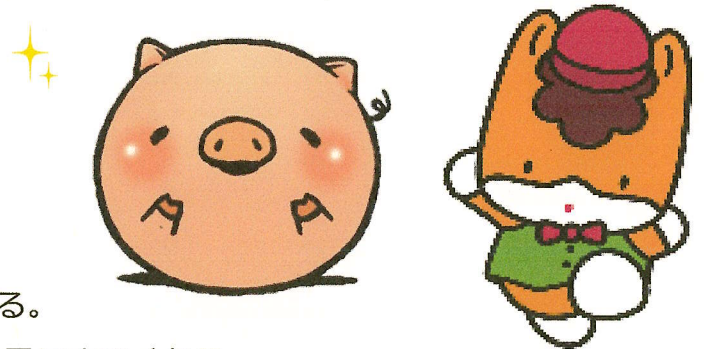
作成： 1組 8組



インタビュー先：まえばしCITYエフエム

インタビュー先について：

前橋の声をあなたの耳に！！
～老若男女に愛されるラジオ局～



インタビュー内容

Q：仕事を通してのやりがいはなんですか。

A：市民との距離が近く、身近な存在でいられる。

→メールを送ってくれたり、実際にラジオ局にきてくれる。

Q：普段どのような番組をしていますか？

A：前橋市民に特化した情報を提供している。

Q：前橋の魅力はなんですか？

A：若者が行きたくなるような場所があった。

具体例 クレープ屋・アイス屋・カフェなど



Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いませんか。

A：若い世代にも目に入るようにする。例) インスタやXなど

自分たちが感じたことについて

・魅力

前橋市民との距離が近い。

若者が行きたくなるような場所があった。

・課題

発信力がない。老若男女の方々が楽しめる場所やイベントが少ない。

・どうすればより良くなると思ったか

発信力を発展させ、お年寄りから若い方々まで楽しめる場所やイベントを増やす。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

若い人が行きたくなるようなイベントを増やしてほしい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：2組 1班



インタビュー先：

トヤマかばん

インタビュー先について：

ランドセルならトヤマかばん ✨

インタビュー内容

Q：今の前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：補助金が足りない、新しい店が足りなくて活気がない

Q：どういった前橋市が理想ですか。

A：若い世代も訪れられるような新しい店が増え、活気が溢れる前橋市が理想。

Q：他のお店との差別化は何ですか。

A：背面から何まで全部カスタマイズで決められる。

Q：人気のデザインはなんですか。

A：女子...ラベンダー、水色

男子...ほとんどが黒色のランドセル



自分たちが感じたことについて

・魅力

実際に歩いてみて感じたこと...(*~3~)♥

若い人が少ない、暗い、

店が古くて少ない、活気がない

何をしたいと思ったか...(〇〇)

若い人達を呼びたい、店を増やしたい

前橋のことを考えている人について...(〇〇)

活気がほしい、補助金や知名度が欲しい

・課題

知名度、補助金の額。

理想は活気があることだが

現実には古いお店が多く活気が少ない。

・どうすればより良くなると思ったか
店を増やして宣伝する。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！
活気にあふれる目指せ竹下通り

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成:2組2班



インタビュー先

ROBSON COFFEE

インタビュー先について

アーツ前橋の中にある
スペシャルティコーヒーを提供する
静かなカフェ

インタビュー内容

Q: 仕事内容はなんですか？

A: 開店前・開店後の掃除、
ランチ・ディナーのしこみ
接客、コーヒーを淹れる
(主にスペシャルティコーヒー)

Q: どんな客層の方が来ていますか

A: 図書館に来る子供連れの方や年輩の方、若い方まで男女問わず
幅広く来店されています。

Q: 地域と深く関わったイベントに参加したことがありますか？

A: まちなかでのイベントや群馬県内・県外でも活動しています。

広瀬川付近でのコーヒーマーケット 埼玉県『コーヒーと日常』
10/1のコーヒーの日など

Q: 前橋の課題と魅力はなんですか？

A: 課題⇒人口減少、街歩きをしたいと思える環境がない

街に学生が少ない 学生が遊べるような環境がない

魅力⇒人口が少ないことで1人1人がより満足した時間を過ごせる、
人口が多すぎず高崎のように都会すぎない静かなまち

自分たちが感じたことについて

・魅力

- ・人が減っているがそこが逆に魅力
- ・まちなかの人たちが前橋のことについて考えて行動をしているところ

・どうすればより良くなると思ったか

- ・まちなかに学生が集まって勉強などができる場所をつくって、商店街に人を集める

・課題

- ・学生が楽しめたり、集まって勉強できる環境が少ない

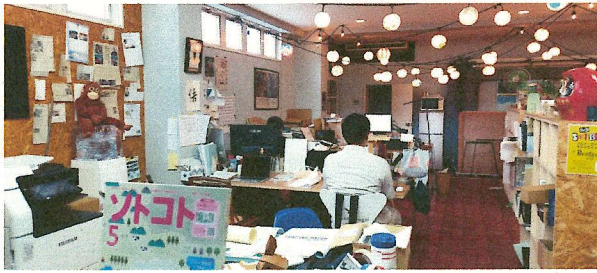
・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・まちに自然と人が流れ込んで商店街が盛り上がってほしいと思う気持ちと、今の静かで1人1人が満足できる前橋市であってほしい



R6 まちなかりサーチ 報告所

2組3班



インタビュー先：

[comm](#)

インタビュー先について：

色々な人が使えるシェアオフィス

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：町中のコミュニティが近すぎる。初めての人が入り込みづらい。

Q：どういった前橋市が理想ですか。

A：遠くからでも色々な人が来てほしい。

Q：どういう人が利用しているのか。

A：建物自体がいろんな業種の人が利用している。例) 東京などの大型会社



Q：前橋で苦労したことは何か。

A：もともとできているコミュニティに入るのが大変

自分たちが感じたことについて

・魅力

- ・コミュニティの中で仲が良い。
- ・人がたくさん集まるから道幅が広い。

・課題

- ・コミュニティが狭い
- ・初めての人が入りづらい。

・どうすればより良くなると思ったか

- ・あまり強くないコミュニティを作り、色々な人を呼ぶ。
- ・イベントを増やす。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・活気があふれている前橋にしてほしい
- ・初めての人が行きやすくて、一回来た人が「もう一度行きたい」と思う前橋にしてほしい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：2組4班



- ・インタビュー先：香り処 日野屋
- ・インタビュー先について： ゆっくり 優しい 落ち着く

インタビュー内容

- Q：いまの前橋市に足りないのは何だと思いますか。 Q：どの年代の人が多いですか
A：魅力のあるお店が少ない A：高校生から90代まで幅広く
広い無料の駐車が欲しい 歩きやすさ



Q：若い世代の客を呼ぶための工夫

Q：客を呼び込むための店前の工夫

A：外でお香を炊く

A：今風の香りを集めている。

(お菓子の香りやカフェオレ系など)



自分たちが感じたことについて

〈魅力〉

店内の雰囲気もやさしく、落ち着いた空気だった。火をつけなくても香る芳香剤や邪気をはらったり念を出すための香、お財布や手紙にいれるお香など種類が豊富だった。商店街にある小さいお店はお客さんとお店の人が話しやすい。



どうすればより良くなると思ったか

若者向けの施設を増やし、それを全面的にアピールしていく
夏の水を使ったイベントなど、暑さ、寒さを利用したイベント開催

〈課題〉

大型店舗に魅力で負けてしまう。
商店街だからこそその魅力を出す。
夏の暑さや冬の寒さによって人が少なくなるので、歩きやすさが必要。
大型店舗は駐車場が広く無料なのに対して、商店街は狭く有料。

私たちは前橋にこうなって欲しい！

若い人たちで活気があふれる市になってほしい
高齢者だけでなく、若者も活躍できる市になってほしい



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：2組5班



インタビュー先：

だんごの美好

インタビュー先について：

昔ながらの団子屋

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：若者が減ってしまっている、売っているものの値段が高すぎる

Q：どういった前橋市が理想ですか。

A：買ってもらうじゃなくて売ってあげるというのが理想

Q：どの年代が沢山団子を買ってくれるのか

A：30~50歳代が多い

Q：なぜ前橋で団子を作ろうと思ったのか

A：ここしかなかったから、儲かると思ったから



自分たちが感じたことについて

・魅力

外国人も多くなった

昔ながらの店と最近の店が沢山ある

・どうすればより良くなると思ったか

イベントによって値段を変える

キャッチコピーなどのポスターを貼っ

てお客に与える印象を残す

・課題

前橋に2度3度来てもらうにはどうす

ればよいのか

ものに見合った値段にする

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

もっと人が来てほしい

活気あふれてほしい

R6 まちなかりサーチ 報告書

2組6班

インタビュー先：

monsoon donuts

インタビュー先について：

おしゃれで雰囲気良さ

インタビュー内容



Q1：いまの前橋に足りないことは何だと思えますか。

A：充実はしているが個人（monsoon donuts）として子どもたちへの育児サポートができていない

Q2：お客さんの中でどの年齢層が多いですか。

A：30～40代がおおい

Q3：何曜日に一番お客さんが来ますか。

A：平日は常連さんが多い、土曜日はSNSなどで知った人が来る

Q4：前橋市で経営するメリットはなんですか

A：家賃が安くて良い、コンパクトな街なので他のお店目的できた人が私達のお店にもよってくれること

◎自分たちが感じたことについて

・魅力

思っていた以上に色々なお店が並んでいた。
前橋のことについて考えている人がたくさんいた。

・課題

「まちなか」に足りない部分
人がたくさんくる場所がない...
ホームページがない...
交通機関がない...

・どうすればより良くなると思ったか

まちなかに公園をつくる→子供連れの人がふえる！

◎私たちは前橋にこうなってほしい！

いつ行っても人がたくさんいて色々なお店があって食べ歩きができ、交通手段が豊かになってほしい！！

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：2組7班



インタビュー先：

烏山海苔店

インタビュー先について：

気分はのりのり

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思うか

A：行政力が足りない。壊すことはたくさすけど何かを建てることはしない。

Q：前橋にいて良かったことor苦労したこと

A：苦労はあんまりない、強いて言うなら後継ぎがない

Q：高校生にやってもらいたいこと

A：自分の店で海苔を買っておにぎりなどを作ってほしい
できるだけ、コンビニなどで買うのはやめてほしい。

Q：なんで海苔を群馬で売ろうとしたのか

A：先代の人が第二次世界大戦後に食糧難で苦しんでた前橋の
人々に海苔を売ったことで大繁盛したのがはじまり

自分たちが感じたことについて

・魅力

後継ぎがなかなか見つからない中で店を切り盛りしているのもそういう店を私達の手で活性化させたい
店の人が優しい

・課題

建物などを壊す政策をしたままで、
新しいものを作らないこと。+ 行政力

・どうすればより良くなると思ったか
需要のある建物を建てる

・私達は前橋にこうなってほしい!!
電車が五分に一回来る街になってほしい。
いろいろな人に需要がある街になってほしい。



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：2組8班



インタビュー先：

mashita

インタビュー先について：

雰囲気韓国みたいだった。

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないのは何だと思いましたか

A：若い世代の人が少ない

Q：どういった前橋市が理想ですか？

A：にぎやかな街

Q：なぜ韓国料理にしたのですか？

A：みんなに知ってもらいたい、韓国人だから

Q：食材はどこから仕入れているのですか？

A：韓国のスーパーから、東京から送ってきてもらう

自分たちが感じたことについて

・魅力

- ・昔ながらのお店があった
- ・親しみやすかった

・課題

- ・商店街に人が少ない
- ・やっていない店が多い

・どうすればより良くなると思ったか

- ・若い世代の人に興味が湧くようなお店を建てる
- ・イベントを開催する

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・発展してきれいで楽しい街
- ・人が増えてほしい

にぎわい商業課

3組1班



～にぎわい商業課について～

前橋をより良い街にするためにお店のサポートをしたり、街のデザインを考えたりしている場所。

～インタビュー内容～

Q 今の前橋に足りないことは？

A 前橋は面白い街だけど知っている市民が少ない

Q どのようなデザインが前橋に必要なか？

A 商店街で目立つための「アーバンデザイン」が必要

Q 私達にできることは？

A SNSで宣伝すること（インスタ）

Q どのようなイベントを行っていますか？

A マエバシBOOKFESや祭り



～魅力～

アーバンデザインによって街がきれいになっている。

前橋について考えている人が多いと感じた。

～どうすればより良くなるか～

私たちがSNSで前橋の良いところを宣伝する。

～課題～

前橋がなにもないという固定概念を覆すこと。



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：3組2班

インタビュー先： **あんこもん**

インタビュー先について：

**あんこ好きによるあんこ好き
のためのあんこ専門店**



インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：人通りが少なく若者が来ない。

Q：どういった前橋市が理想ですか？

A：前橋市市民がみんなの力をあわせて町作りに参加し
そしてよりよい町作りにしてほしい。

Q：あんこもんを創立したきっかけは？

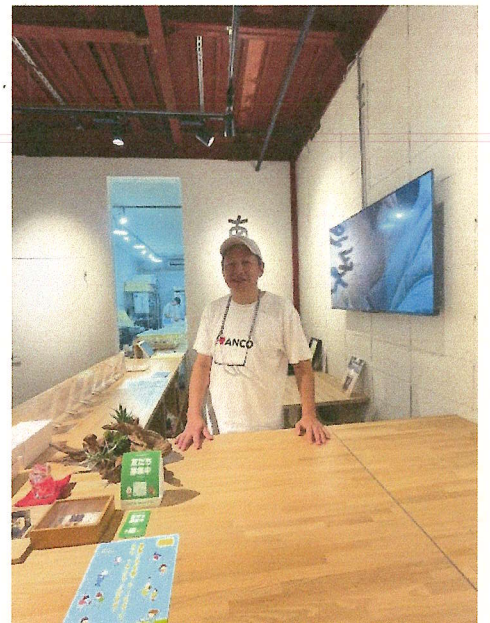
A：あんこで街を元気にするためにあんこ好きの市民
を集めプロジェクトを開始し、あんこもんができた。

Q：お店の人気メニューは？

A：1位・エクレあん（幅広い年齢に人気）

2位・のむあんこ

（あんこが好きすぎてあんこを飲みたくなった5歳の子が提案した）



自分たちが感じたことについて

・魅力

若者がきそうなおしゃれな店がいくつ
かあった。

・課題

若者に人気のお店をもっと作ってほし
い。

・どうすればより良くなると思ったか

高校生が主体のイベントを町中でやったり
メニューの提案をしたりすれば地域の活性化
につながると思う。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

県外からもくるようなにぎわいの街になっ
てほしい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：3組3班



インタビュー先：

SYATOA

インタビュー先について：

「えがお」と併設されている
小さなパン工房SYATOA～シャトア～

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思えますか。

A：やはり活気が足りないですかね。

Q：開業するにあたってなにかトラブルはありますか？

A：パンを焼くための強力な電気を通す線が開店までに間に合わないというトラブルがありました。なんとかりましたが、一時期はどうなるかと思いました。

Q：なぜこの前橋で開店しようと思ったのですか？

A：前橋商店街でお店を開くと市から補助金がでるので、「これなら私もできるかも」と思い、開店することを決心しました。

Q：営業するにあたってやりがいなどはありますか？

A：やはりお客様の笑顔ですね。

私達で作ったパンをおいしいと言ってくださるのがとてもうれしいです。



自分たちが感じたことについて

・魅力

幅広い年代に親しまれ愛されている。

・課題

昼間でも人通りが少なく、周辺の店舗も閉店していることが多く活気が少ない。

・どうすればより良くなると思ったか

SNSを使って前橋の魅力を発信していく

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

若い人が中心に集まる人で溢れる商店街

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：3組4班

Cafe

インタビュー先：LAUGH COFFEE

インタビュー先について：みんながふらっと立ち寄れる
コーヒーが美味しいあたたかいお店



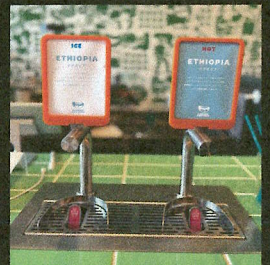
年齢層,混む時間帯 ⇒ 20~40代, 13:00~17:00

キッチンカーから実店舗移行へのきっかけ
⇒ 元々出そうと思っていた。良い立地を探していたときに
物件を管理していた方にお話を頂いた

お店の壁紙など...⇒ 珍しい柄にすることによって、SNSなど
に上げたときに目に止まりやすい!



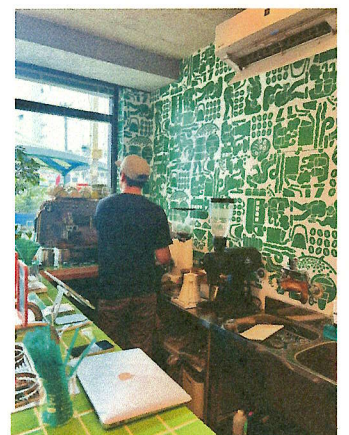
Interview Content



What we felt

まちなかを実際自分たちで歩いてみて、感じたこと。

- 魅力
 - 色々なお店があって見るだけでも楽しい
 - LAUGH COFFEEさんなど、ふらっと立ち寄れるようなおしゃれで素敵なお店がある
- 課題
 - 人通りがあまり多くはない
 - まちなかの魅力に気づいていない人が多い
- どうすればより良くなる？
 - 若い人向けのイベントなどをもっと開催してみる
 - 最近のお店をもっと取り入れてみる



R6 まちなかリサーチ 報告書

作成：3組5班



インタビュー先

無印良品

インタビュー先について

お店の店員さんが優しく丁寧に対応してくれて、明るく良い雰囲気のお店だと思う。

インタビュー内容

Q：一番人気商品はなんですか？

A：食品（特にバームクーヘンとグミ）

Q：いい雰囲気なお店作りをするために意識していることはなんですか？

A：お客さんに挨拶や会話をして密着すること。

Q：店舗のデザインに込められた想いはどんなことですか？

A：スタッフが良い商品を模索してお客さんに届けること

Q：地域に根ざした店舗づくりで心がけていることはなんですか？

A：つながる市、インスタ、クリエイターさん呼んで良さをアピールしていること。



無印良品の内装

自分たちが感じたことについて

・魅力

- ・実際に歩いてみて感じたこと
前橋市民で賑わっている
- ・前橋のことを考えている人について
前橋市が活性化するようにイベントを開くこともある

・どうすればより良くなると思ったか

- ・イベント規模を大きくすること

・課題

- ・「まちなか」に足りない部分
- ・他の地域に比べてイベントの規模が小さいこと

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・前橋市民だけではなく他の地域や海外からも人気の地域であってほしい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：3組6班



インタビュー先：

焙煎館

インタビュー先について：

落ち着いた雰囲気ですリラックスできる

インタビュー内容

Q：今の前橋に必要なことは何だと思いますか？

A：スズラン以外の商店街 大型の店で客を呼び込む

Q：創業何年目ですか？

A：今年で20年目

Q：どの年齢層や歳の方が来ていますか？

A：幅広い年齢層のお客さんが来てる 70代から80代

Q：昔と比べて客は増えたり減ったりしましたか？

A：同じ方が来るのが多い



自分たちが感じたことについて

・魅力

椅子やガラスのデザインのこだわり

・課題

色々なものが高騰してきている

建物が老朽化してきてる

一定の年齢層のお客さんが多いこと

・どうすればより良くなると思った

市と強く提携する

コーヒーに関心を持ってもらう

昔の雰囲気を残しつつ、もっと若者

に来てくれるようなまちづくりに取

り組む

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

今の雰囲気を残しつつ

もっと今向けしてほしい



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：3組7班

インタビュー先：

駒井園

インタビュー先について：

『落ち着く場所』

インタビュー内容

Q：長続きの秘訣

A：問屋さんとの付き合いが長年良く、後継ぎがいたから

Q：どの年齢層に人気か

A：40~50の女性に人気

Q：特製抹茶アイスに入っているお茶の割合はどのくらいか

A：お茶と牛乳3：7の割合 他のお店より濃厚

Q：お茶の入れ方のコツ

A：熱いお湯を冷まし、温くなったお湯で入れることで一番美味しい苦みになる

Q：今の前橋（商店街）の課題は

A：商店街の人が少ない（お店が少ない）交通の便が悪い

自分たちが感じたことについて

・魅力

新しいお店と古いお店が混在していて、
年齢層関係なく交流できる

・課題

商店街に人が少なく閉まってる店が多い

・どうすればより良くなると思ったか

若者に人気があるものを設置すれば良い
例えば・・・レトロ風プリクラ！
セーラ服や学ランなどのコスプレを
おいて撮れるようにし、
体育祭などの学校行事の
あと商店街に寄るきっかけに！



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：3組8班



インタビュー先

東郷庵

インタビュー先について： 老舗の 蕎麦屋

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思えますか。

A：活気と女子校

Q：どういった前橋市が理想ですか。

A：今よりもみんなに優しい街になること！

Q：昔と比べて客層に変化があったのか。

A：若い人が減った。

Q：昔と比べて客数に変化があったのか。

A：減ったが、イベントがある時には増える。

自分たちが感じたことについて

・魅力

雰囲気がよく、
テレビの取材がよく来る

・課題

若い人がいない。
シャッターが閉まっている

・どうすればより良くなると思ったか
学校を建てる。

→学校帰りに寄ることができる。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

若者で溢れる賑やかな街になってほしい



R6 まちなかりサーチ 報告書

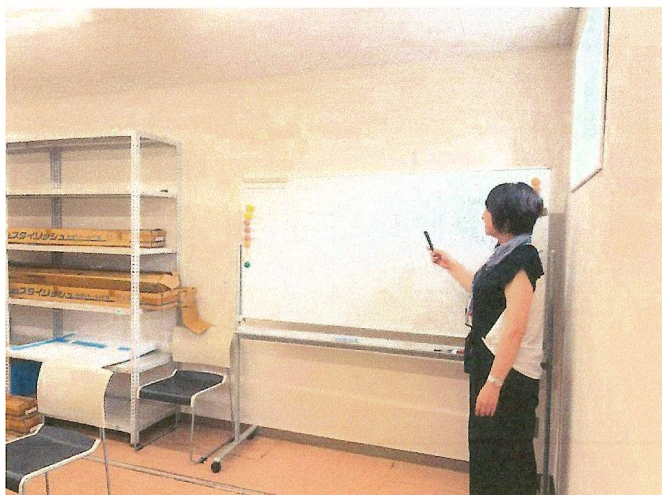
作成：4組1班

インタビュー先：

前橋観光 コンベンション協会

インタビュー先について：

2006年に設立



インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないこと

A：外から来てもらってお金を使って頂こうと思っている人が少ない

Q：理想の前橋市

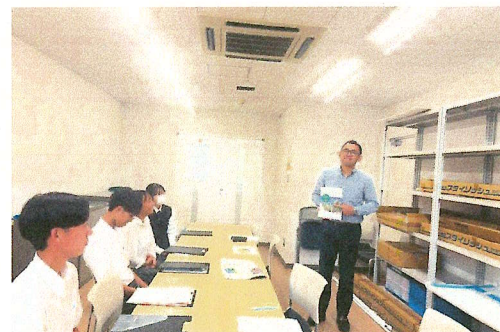
A：観光で人数を増やすだけでなく、消費額を増やし満足してもらうこと

Q：観光客の方々に立ち寄ってもらうために行った行動

A：駅や宿泊所などにパンフレットをおく
キャラクター（ころとん）を使ったイベント

Q：前橋の良さをどのように伝えているか

A：最新の情報、正しい情報をどんな機器でも同じように伝える



自分たちが感じたことについて

・魅力

治安が良い
親しみやすさ
人と人とのつながり

・どうすれば良くなると思ったか

お金を稼げる仕組みをつくり、
人を育てる

・課題

少子高齢化、人口減少
インタビューで聞いた理想と現実の差
現実では、観光客数は県内トップだが
観光消費額はとても少ない
理想では、移住者、交流人口を増やす

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

国と前橋市の課題は似ていることを
知ったので、人が来てもらうような
イベント開催してほしい

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：4組2班



インタビュー先

中林青果

インタビュー先について：

THE・八百屋

質問内容

Q：今の前橋に必要なものは何ですか。

A：人が集まるような施設を作ってほしい。

Q：どの時間帯と時季が一番混みますか。

A：お昼時と夕方 秋。

Q：昔と比べて変わったことは何ですか。

A：昔は自転車が通れないくらい人で混雑していた。

Q：なぜ前橋に立てたのですか。

A：祖父が建てたのでわかりません。



自分たちが感じたことについて

・魅力

昔の風情ある建物と現代の新しい建物があって珍しい商店街だと思った。

昔の商店街を知っている方がいるのでもっと商店街の改善ができると思った。

・課題

古い建物もあったけど今はやっていないお店があったりした。

・どうすればより良くなると思ったか

もっと若い人たちの意見を取り入れることが大切なのかなと思った。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

自然を大切にしながらもっと前橋を盛り上げてほしい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：4組3班



インタビュー先：

八百駒

インタビュー先について：

中央広場から徒歩一分！

新鮮さと信用第一の青果が大人気のお店です！

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：子どもたちや若い世代が行きたいと思えるような遊ぶところがない

Q：今のお店を引き継いで大切にしていること

A：新鮮で季節に合ったいいものを置くこと

Q：仕入れる上で大切にしていること

A：市場を信用しているのでそこから新鮮なものを仕入れている



自分たちが感じたことについて

・魅力

- ・実際に街を歩いてみて沢山の方が気軽に話しかけてくださったこと
- ・商店街は屋根があるので雨の日でも楽しめる

・課題

- ・商店街をPRする場を増やす
- ・若者が興味を持てるお店やイベントが少ない
- ・遊べるところがない

・どうすればより良くなると思ったか

- ・古くから続く風景を活かしつつお店の良さをアピールしていければ良いと思った

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・伝統と真新しさが組み合わさったまちづくり
- ・にぎわっていてほしい

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：4組4班



インタビュー先：

More Soup

インタビュー先について：

農家夫婦が営む無農薬野菜中心のお店

インタビュー内容

Q：どういった前橋市が理想ですか。

A：住みやすいまちづくり。



Monkey Green

Q：なぜこの場所に店を開いたのか。

A：商店街に専門店が多く、自分たちも無農薬という専門的なメニューを売っているため。

Q：なぜ無農薬野菜を使っているのか。(材料へのこだわり)

A：農薬を使うのは体に良くなく、無農薬なら野菜本来の味を楽しむことができるため。



More Pink

Q：人気メニューはなんですか。

A：More Pink、Monkey Green

自分たちが感じたことについて

・魅力

老舗と新しい店が混在し、歩いていて楽しい商店街だと感じた。

・課題

- ・閉まっている店が多く、雰囲気暗い。
- ・宣伝が少ない。

・どうすればより良くなると思ったか
若者に人気な人を呼び、イベントをやったり、もっとSNSを活用するとより良くなるのかなと感じた。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・移住者の増加。
- ・魅力の発信。
- ・交通の便を増やす。
- ・街中の駐車場の設置数を増やす。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：4組5班



インタビュー先： シャンゼリセ

インタビュー先について：

昔、市前などの中履きを手がけていたお店

【インタビュー内容】

Q：どの年齢層の人が多く来るのか？

A：50代～70代

Q：以前と比べて商店街はどのように変化したか？

A：以前は人がいたが今はいなくなっている。

Q：前橋市のためにどのようなことを心がけていますか？

A：若者に商店街を訪れてもらうために、若者を狙いにした商品を販売している。

Q：これから商店街をどのようにしていきたいか？

A：商店街が小さくなって、沢山のお店を一つの場所に集めたい。



【自分たちが感じたことについて】

・聞いてわかったこと

商店街の床に貼られているタイルは、お店の店主さんたちがお金を集めて作った。

・課題

食べ歩きできるお店が沢山あるのににもかかわらず、ゴミを捨てる場所がなかった。

・どうすればより良くなると思ったか

所々にゴミ捨て場を作ると、食べた後が困らないと思った。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

凸凹部分のタイルや、色褪せている建物を直して、町並みがきれいになって欲しい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：4組6班

インタビュー先：

江原魚店

インタビュー先について：

創業明治29年の昔ながらの魚店



インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思えますか

A：交通が不便で高齢者の方々が買い物に行き辛い

Q：お客様の年齢層と一日に何日ほど来るか

A：高齢者の方が多い
平日は30人、休日は50人 ほど

Q：こういった商品が売れますか

A：高齢者で一人暮らしの方が多いので、
生物よりも事前に調理されたものが売れる

Q：お店を続ける中でやりがいがありますか

A：お客さんに「買って良かった」と言って貰えたこと。

↓実際に売られているお刺身



自分たちが感じたことについて

・魅力

写真に映える場所がある

美味しいご飯が沢山ある(幅広いジャンル)

お店で働く方々とお客様との関わり(地域の輪)がある

・課題

良いお店はたくさんあるけれど、交通の面が不便なため、あまり人が来ることができない。(バスの便数が足りないなど) シャッター街が目立つ。(お店の活動が活発じゃない?)

・どうすればより良くなると思ったか

交通面の改善→バスの便数を増やすなど
まちなかの食品をトラックで運んで販売する出張式のお店を実施する、など。

・前橋にこうなって欲しい

どんな人でも食や街並み、歴史に触れられる趣のある前橋市。
東京のように“栄える”というだけでなくその街らしさが現れているような場所になって欲しい。

R6 まちなかりサーチ報告書

作成：4組7班



インタビュー先：

すいーとぼと

インタビュー先について：

ウマすぎる！
前橋商店街の右腕！
sweet potato！！！！

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：若い人たちがもっと前橋市を盛り上げられるようなイベントを行う。

Q：年齢層は？

A：主婦の方々からお年寄りやサラリーマンまで幅広い年齢層。

Q：どのくらいお客さんがくるか？

A：イベントのある日はたくさんの人が多い。

Q：品種はなにを使っているか？

A：時期によって異なり、5種類ほどある。

Q：商品のこだわりは？

A：どのお客さんにも気に入ってもらえるようにしている。



Q：おすすめの商品

A：スイートポテト

自分たちが感じたことについて

・魅力

昔ながらのお店や新しいお店が
バランスよく営業している。

・課題

お店がやってないところが多い。
お客さんが少ない。

・どうすればより良くなると思ったか
お店の数やイベントを増やす。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！
お客さんの数が増えて活気あふれる
商店街になってほしい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：4組8班



インタビュー先：

大川屋本店

インタビュー先について：

古き伝統が残る店

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思えますか？

A：今の状況よりも多くの魅力のある店を増やすために役所の人や地域の人に手伝ってもらいたい。

Q：一番人気のメニューはなんですか？

A：定番のざる蕎麦や絹おろし蕎麦、日替わりメニュー。

Q：どの世代の人が多く来ますか？

A：平日はサラリーマン、休日は家族連れや若者が多い。

Q：本店だからこそ何か大切にしていることは何ですか？

A：支店の見本となる営業や衛生面に気をつけている。

Q：この場所で営業している上で困ったことはありますか？

A：地価が高いことや駅から遠く、アクセスが良くない。

自分たちが感じたことについて

魅力

- ・親しみやすい
- ・店同士の関わりが深い
- ・チェーン店とは違い、個人店はその店にか作れない味がある

課題

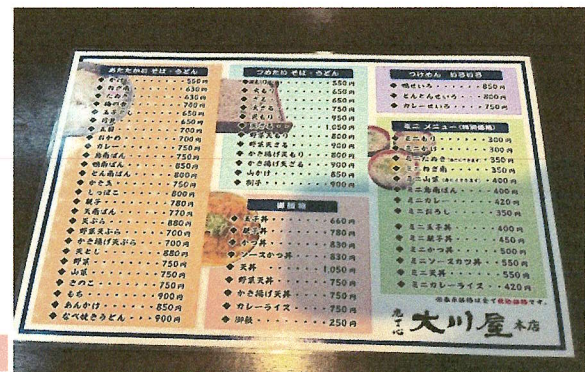
- ・店が少ない
- ・アクセスが悪い
- ・ショッピングモールが近くにあるため人が流れていく
- ・活気がない

どうすればより良くなると思ったか

- ・店を増やす
- ・アクセスをよくする
- ・世代をとわず楽しめる場所を作る
- ・SNSを利用していく

私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・子育てに優しい街
- ・交通の面を良くする



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：5組1班

インタビュー先：前橋文学館

インタビュー先について：萩原朔太郎の言葉と出会う場所

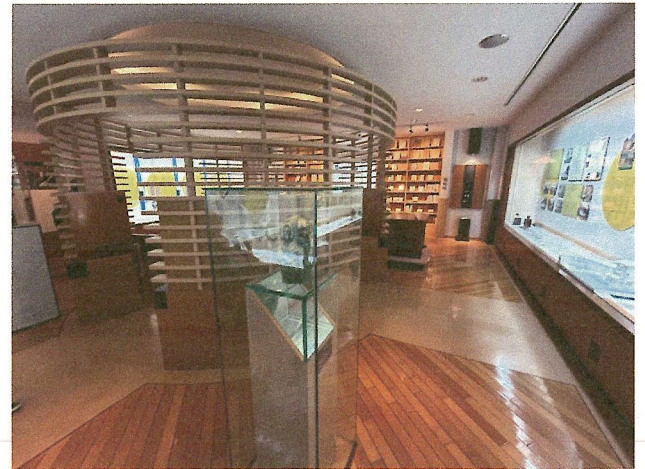
インタビュー内容

Q：どの年代の方が多く来館されますか。

A：基本は60代以上の方が多く、イベント時や展示の内容によっては20代などの若い方も来館する。

Q：接客や展示において高い評価を保つためにどのような工夫をされていますか。

A：接客は接客専門の人が担当し、展示は様々な専門員が協力して工夫を凝らしている。



Q：この施設を通じてどんな事を感じたり学んだりしてほしいですか。

A：色々な言葉に出会って文学や前橋に興味を持ち、周囲の街も観光してほしい。

Q：地域活性化のために工夫されていることはありますか。

A：周囲の建物と協力し、文学館の外にも言葉と出会える機会を作っている。

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：もっと人同士がつながることのできる場所をつくり、地域のつながりを強めること。

自分たちが感じたことについて

・魅力

古くからあるお店と新しくできたお店が混在して前橋市独特の雰囲気を形成している。

・課題

シャッター街になっていて寂れたように感じてしまう。
人と人のつながりが少ない。

・どうすればより良くなると思ったか

シャッター街を生かした企画を定期的に実施する。（美術館など）
SNSを活用する。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

安心して平和に過ごせる楽しい街になって欲しい！

R6 まちなかりサーチ 報告書

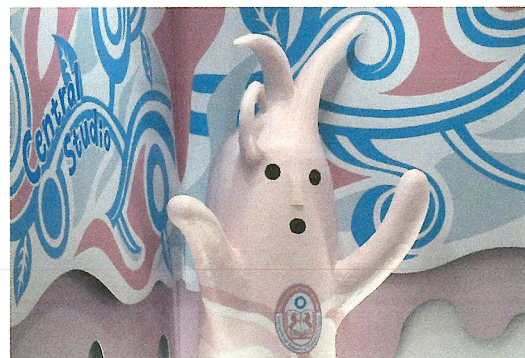
作成：5組 2班

インタビュー先：

国際産業技術専門学校

インタビュー先について：

企業と生徒を繋ぐ架け橋となる学校



インタビュー内容 ✍️

Q：今の前橋に足りないことは何だと思いますか？

A：夢を持つ若者が少ないこと。

Q：前橋の活性化のためにしていることはありますか

A：夢を追う人たちのためにイベントを行っている。夢語りイベントなど。

Q：前橋の産業にどう関わっていますか？

A：人材不足の企業を救うために、企業が求めている人材の育成→産業活性化

Q：地域との行事を通して思うことは何ですか？

A：多文化理解をしてもらい外国人も頑張っていることをもっと知ってほしい。

★自分たちが感じたことについて

・魅力 ✨

外国人も前橋を活性化するために活動している。

・課題 🌐

若者が少ない。
夢を持っている人が少ない。
夢を追いかける環境が整っていない。
少子高齢化。

・どうすればより良くなる？

若者が夢を追いかけるような環境を整える。
イベント以外でも若者がまちに来るようにする。

・私たちは前橋にこうなってほしい!

もっとたくさんの方が来て活気があるまち。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：5組3班



インタビュー先：

【幸煎餅】

インタビュー先について：

カラフルなお店 

インタビュー内容

Q：どの年齢層に人気ですか。

A：お母さん世代やそれよりも上の50代から60代後半の人が多いです。

Q：この仕事のやりがいは何ですか。

A：サービスで試食を出したり、暑いときにお茶を出したときに喜んでくれることです。

*お店の近くにいた方にもお話を聞きました↓

Q:前橋市をより良くするためにはどんな事が必要だと思いますか。

A：人口が少ないから前橋の人口を増やすことが必要だと思います。

【自分たちが感じたことについて】

・魅力 ✨

昔ながらのお店がたくさんあって昔の雰囲気を感じ取ることができた。

お店の清潔感があった ✨

・課題 ✍️

今の前橋を変えようと思っている人が少ない。人口が少ない。

・どうすればより良くなると思ったか♥

今どきのお店を増やして、高校生を呼ぶ

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

活気あふれていて明るい街になってほしい ✨



R6 まちなかりサーチ 報告書

作成5組4班



インタビュー先：

ブルーボトルコーヒー 白井屋カフェ

インタビュー先について：

隠れ家みたいなカフェ

インタビュー内容

Q：今の前橋市に足りないことは何だと思いますか？

A：若者が遊べる場所がない

Q：ブルーボトルコーヒーはほぼ都会に出店しているのになぜ群馬に出したのか？

A：JINSの社長の田中さんが群馬県出身で、群馬を盛り上げたかったと声をかけてくれたため出店した

Q：なぜ隠れ家みたいになっているのか？

A：みどりと町をあわせて、もともとある白井屋ホテルにカフェを作るという考えだった

Q：群馬で自由に土地が使えてお店を建てられるとしたらどこに建てたいか？

A：高崎市の駅の近く

自分たちが感じたことについて

・魅力

新しいお店が増えている

・どうすればより良くなると思ったか
全世代に親しまれるお店やイベント
を作る

・課題

お昼ご飯のあと、昼が過ぎると人が少なくなること。若い人向けのものが少ないこと。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！
どの年齢も関係無く人が来てくれる町

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：5組5班



インタビュー先：

喫茶マルカ

インタビュー先について：

ゆったりできる場所

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：お肉屋さんがないこと。

Q：今のまちなかをどう思いますか。

A：面白い人が多く、若い人が少し増えた。

Q：なぜ前橋中心商店街にお店を立てたのですか。

A：以前まちなかで働いていて
好きだったので、自分でお店を出した。

Q：普段、接客などで気をつけていることはなんですか。

A：嫌な気分させないようにしている。



自分たちが感じたことについて

・魅力

食べ物がおいしそう

・課題

イベントがないときに商店街を訪れる人が少ない

気軽に入れるようなお店が少ない

人が少なく、暗いため少し怖い通りがある

・どうすればより良くなると思ったか

お店のレパートリーを増やす

子どもが楽しめるような場所をつくる

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

人が増えてほしい

いつ行っても楽しいと感じられる場所

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：5組6班

インタビュー先：ヤギカフェ

インタビュー先について：2007年から17年間続いているフレンドリーでおしゃれなカフェ！前橋のいろんな情報が聞けるかも!?

インタビュー内容

Q： 今の前橋市に足りないものはなんですか？

A： 生活しているうえで足りないものはない。

Q： 17年間続けてこれた秘訣などありますか？

A： お客さんからの支持があってこそ続けてこれた。
お客さんとの信頼関係、日々の掃除など



Q： オープンしたときの前橋と今の前橋の変化はなんですか？

A： オープンしたときはシャッター街で活気もなく寂しい雰囲気だった。
それでも段々と賑やかになって新しいお客さんが増えて活気も良くなった。

Q： なぜ前橋にお店をたてることを決めたのか？

A： 地方のほうがお金など経済面で優しいのと、
中央通りの歴史が長くそこに興味を惹かれたから。

Q： 来客を増やすための工夫は何かありますか？

A： 丁寧な接客を心がけること。他人以上、友人未満の関係を大切にする。
チェーン店ではできないサービス(メニューの説明など一言添えるなど配慮)。
フレンドリーに接する。

自分たちが感じたことについて

・魅力

- ・レトロな雰囲気が良かった。
- ・フレンドリーで接しやすい。
- ・店主さんが優しかった。

・課題

- ・賑わいが少ないと感じる。
- ・新しいお客さんを増やす方法。

・どうすればより良くなると思ったか

- ・SNSの活用を積極的にする。
- ・前橋市の認知度を上げる。

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

- ・**前橋がもっと賑わってほしい！**
- ・**前橋がもっと全国的に有名になってほしい！**

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：5組7班



インタビュー先：

La Cloche

インタビュー先について：

フランスカフェをまちなかに！

インタビュー内容

Q： いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A： イベント行事が広まるような掲示板や、コンビニです。

Q： 多くの人に来るような工夫はあたりしますか。

A： インスタで広めたり、あとは行事とかで広めたり。

Q： フランスのカフェ文化をなぜ”前橋”に広めよう？

A： 趣味である物件探しをしていたら、川沿いで、壁が好みの物件が、ちょうど前橋にあったからです。

Q： フランスカフェを初めたきっかけは？

A： 姉が当たった懸賞旅行で行ったパリで、見たカフェにカルチャーショックを受けて。それがきっかけでカフェをしたいと思います。

自分たちが感じたことについて

・魅力

人々が優しい、温かい
自然豊か

・ どうすればより良くなると思ったか
前橋全体がイベントの情報を共有をしたり情報伝達をこまめにする

・課題

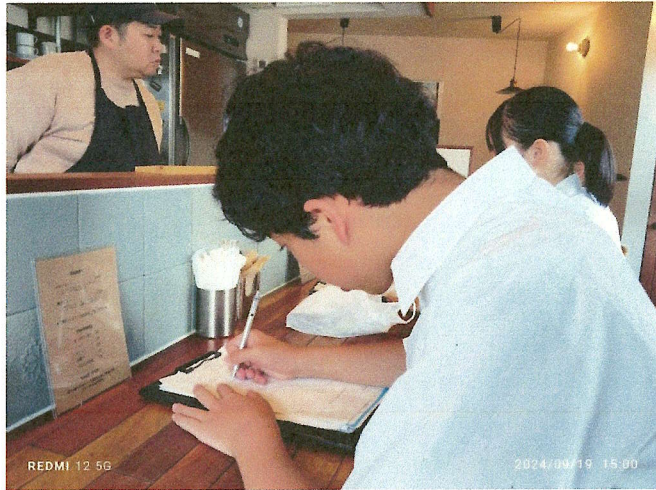
理想 もっと賑やか
現実 掲示板などがなく呼び込めない

・ 私たちは前橋にこうなって欲しい！

より明るくて賑わっている！

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：5組8班



インタビュー先：

グルマンカレー

インタビュー先について：

賑やかな店内、カレーの匂いが漂う
広瀬川沿いにあるカレー屋さん

インタビュー内容

Q： 前橋に決めた理由を教えてくださいか？

A： 小さい頃商店街でオシャレな人を見るのが好きでこの街で何かをやりたいと思い、前橋に決めました。

Q： 前橋は群馬県内の他の街と比べてどんな雰囲気だと思いますか？

A： のんびりとした雰囲気です。時間がゆっくりに感じる街だと思います。

Q： 前橋市をより良い街にするために私たち高校生だからこそ貢献できることを教えてくださいか？

A： 街に積極的に遊びに行く。後は一人で運営しているお店など行きにくいところも勇気を出して恐れずに入ってみるなどして頂いたら私たちは嬉しいです。

Q： どういう前橋市が理想ですか？

A： 誰が来ても受け入れてくれてどこから来ても楽しんでもらえるような街が理想です。

自分たちが感じたことについて

・魅力

思っていたよりいろんなジャンルの
雰囲気のよいお店がたくさんあった。
もっと商店街に行ってみようと思った。

・課題

誰が来ても受け入れることができる雰
囲気をつくる。まだ若い世代の方々は
何かイベントがないと自主的に街の中
に来たり、お店の人と話をしない。

・ どうすればより良くなると思ったか
シャッター街をなくす！

できればイベントを増やしてみる。

・ 私たちは前橋にこうなって欲しい！

前橋の長所を生かしたレトロ
なお店と流行りのお店をもっ
と増やす！

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成: 6組 1班



インタビュー先 : MDC

-Maebashi Design Commission-

インタビュー先について

**アーバンデザインプロジェクト推進
まちづくりプレーヤーの育成、支援、発掘！**



インタビュー内容

Q : いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A : 前橋市民が前橋らしさを説明することができていない。

Q : 馬場川通りアーバンプロジェクトの前後での変化。

A : 馬場川通り付近の人通りが5年前に比べ112%増えた。

Q : 前橋市を活性化させるために意識していること。

A : 前橋市を活性化させるためのチャレンジする人と挑戦の場を増やし成功率を上げる手助けをする。

Q : 前橋市を活気のある街にするために前橋市民にどのような思いを持ってほしいか？

A : 前橋市民が前橋がどのような街か想像できるように市民みんなで前橋というまちを作り上げるという思いを持ってほしい。



自分たちが感じたことについて

◎魅力

前橋レンガプロジェクトの一環で名前入りのレンガを親子で作成することによって前橋とレンガの歴史を知ることができ、作成したレンガをまちなかの道に使用することで前橋に親しみを持てるようになった点。

◎課題

シャッター街の雰囲気が残っている。若者向けのイベントや店舗が少ない。行事のとき以外での人の集まりや活気が少ない

◎どうすればより良くなると思ったか

前橋のまちなか=シャッター街というイメージをなくすこと。

幅広い年齢層に楽しめるような店舗やイベントを増やす。

MDCの方が仰ったように、「市民ひとりひとりがまえばらしさを説明できるようになること。」

◎私たちは前橋にこうなって欲しい！

人通りが少なくても活気が感じられる街市の強みを最大限に発揮できる街。観光地がもっと発展して欲しい。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：6組 2班



インタビュー先：

喫茶こまち

インタビュー先について：

昼と夜で違った雰囲気が
楽しめる!

インタビュー内容

Q：お店の売上の工夫

A：リピーターを増やすために内装や外観、
雰囲気作りに力を入れている

Q：お店のこだわり

A：食材から提供まで一品一品にこだわりがある
時間帯によってメニューが変わる

Q：なぜ前橋で営業しようと思ったか

A：自分の生まれ育った場所で、居場所はここしかないと思ったから

Q：どういった前橋が理想か

A：一人一人が宣伝者だという自覚を持つこと



自分たちが感じたことについて

◎魅力

- ・昼と夜で店の雰囲気が変わる
- ・リニューアルをして若者にも好まれる
ような内装に

◎課題

- ・宣伝や告知が難しい
- ・一人一人が宣伝者という自覚が無い

◎どうすればより良くなると思ったか

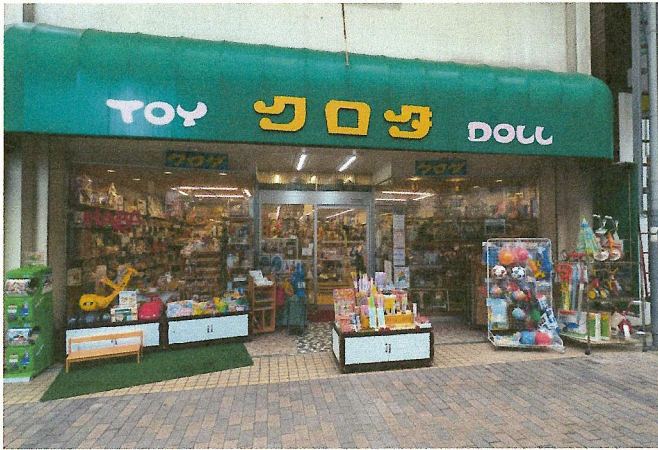
- ・SNSで情報を発信する

◎私たちは前橋にこうなって欲しい!

- ・もっと多くの人に情報が行き渡る
ようになってほしい

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：6組3班



インタビュー先：**クロダ**

インタビュー先について：

どの年代でも楽しめそうなものが売っていて、懐かしさを感じられるようなところだった。店員や店の中の雰囲気も良く、幅広い年代に対応した商品が売られていた。



インタビュー内容

Q：今の**前橋に足りないこと**は何だと思いますか

A：人口が少なくなってしまい、子供が少なくなっている。



Q：どのようなおもちゃの種類が人気

A：流行りのカードゲーム

(ポケモン、ドラゴンボール、ワンピース)

Q：おもちゃ屋を始めようとしたきっかけ

A：2代目が亡くなり、今の店長が受け継いだ。

Q：どんな時にやりがいがあるか。力をいれてること。

A：売上が上がったりした時にやりがいを感じる。イベントに力を入れている。

(前橋、七夕まつりでのベイブレード大会...など)

自分たちが感じたことについて

・魅力

幅広い世代に対応した商品がある(対象年齢0～99歳)

古い景観を残しながら現代にあわせた新しい建物がある

・課題

町中にゴミ箱がなく不便。

子供が店内にいて賑やかな雰囲気かと思ったが、現実には子供がおらず、親が数人いただけだった。

・どうすればより良くなると思ったか

栄えている街周辺や小学校などの学校周辺にチラシを配る。

幼稚園に行き直接売りに行く

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

人が盛んになり、賑わいのある商店街になってほしい。

イベントの開催日を増やす。

少し遠いところだが、前橋駅からのアクセスのしやすい街にする。

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：6組4班



インタビュー先

手紙舎

インタビュー先について

『イラストとビールとサンドイッチ』

インタビュー内容

Q：今の前橋市に足りないことは何か

A：人を集める力

Q：作品のこだわりはなにか

A：シンプルでありながら触感や日々の生活に馴染めるようなもの

Q：何に力を入れているか

A：陶器の器、原画展示、包装紙バイキング

Q：前橋にお店を立てた理由

A：社長が群馬の人でまちなかで青春時代を過ごしたから



自分たちが感じたことについて

・魅力

昔から老舗があるのと同時に新しいお店、若い店主が増えてきていること。昔ながらの中央通りと新しいお店があり他にはない商店街

・課題

人通りが少ない
店主の高齢化 建物の老朽化

・どうすればより良くなると思った

世代関係なく人が集まることができ、通日もより便利になるような、知名度も集客力もある施設の増加

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

集客が足りないのもっと前橋市を発展させて人が集まってくるような前橋市になること



インタビュー先：

喫茶 マルカ

インタビュー先について：

おしゃれでのんびりできる喫茶店！

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：お肉屋さんが商店街にない。

Q：どういった前橋市が理想ですか。

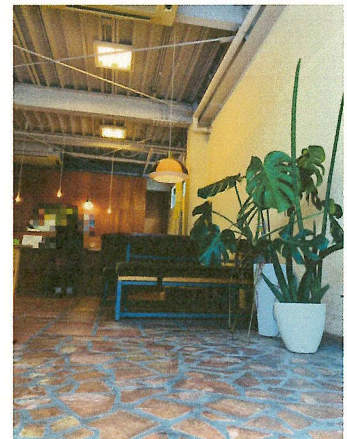
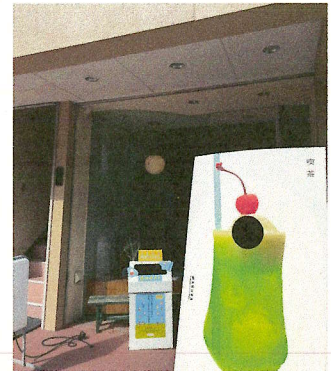
A：お肉屋さんを構え、コロッケやメンチカツなどのお惣菜を販売することで、安く購入することができ、一つでも空腹を満たせるため主婦だけでなく商店街を帰宅途中に通る学生にも、学生に優しい料金で買うことができるため。

Q：お店の雰囲気づくりで力を入れているところはなんですか。

A：のんびりゆったりくつろげる場所として力を入れている。

Q：前橋にお店を構えた理由

A：町中が好きだから。



自分たちが感じたことについて

・魅力

最近でき始めた店が多いため、
きれいな建物が多くなった。
道端がきれい。整備されている。

・どうすればより良くなると思ったか
無印良品のようなチェーン店を多く
構えれば若者が多く来ると思った。

・課題

シャッターが多い。
若い人が少ない。
昼間から夕方までの営業が少ない。
(17:00～のオープンが多い)

・私たちは前橋にこうなって欲しい！
夜の規制をかける。
心がきれいな若者が増える街になっ
てほしい

R6 まちなかりサーチ報告書

作成: 6組6班

インタビュー先: 山都園

インタビュー先について: 前橋にもっと、美味しいお茶を

【インタビュー内容】

Q: どの年齢層が多く来店するか?

A: 50~60代 主婦やその旦那さんが多い

Q: 前橋市の変わらないところと変わったところ

A: 変わらないところ: ない

変わったところ: 時代が変化して家庭で急須を持つ人が少なくなった
→茶葉の売れ行きが減った

Q: 若い人が来やすくするための工夫は?

A: キャラクターをつくって、**キャラクター**ものの商品を販売したり
若者の通行が多い駅前に出張して売りに行ったりしている。
アメリカのサイトから取り入れる。

Q: 今の前橋市に足りないことは何だと思えますか?

A: 商店街の駐車場が狭く、客が**一定人数**しか来ない

【自分たちが感じたこと】

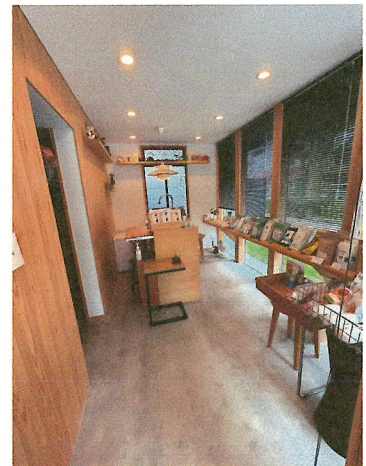
◎魅力: 「建て直したので外観がきれいで興味を持つ見た目だった」

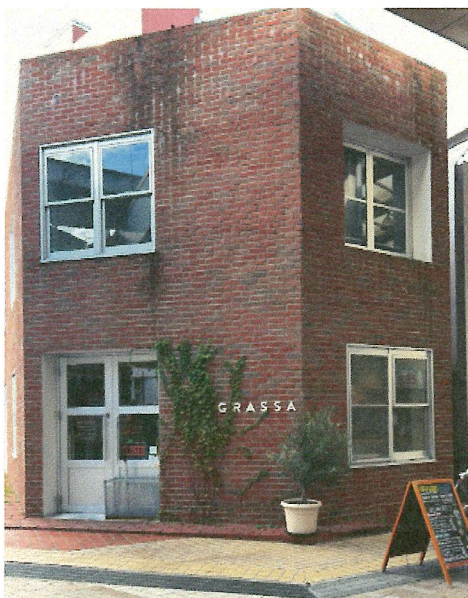
◎課題: 「人通りが少なくなってしまったので、どうやって人を呼び込むか」

◎どうすればもっと良くなると思ったか: 「駐車場が少なくなっているとおっしゃっていたので
駐車場を増やすこと」

◎『私たちは、前橋にこうなってほしい!!』

「大事なことは前橋市の広範囲を繁栄させることではなく、**市内をもっとコンパクトに**
し、地域作りを目指していくこと。」





R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：6組7班

インタビュー先：

GRASSA

インタビュー先について：

群馬の野菜をたっぷり使った
イタリアン料理

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思いますか。

A：商売をしたい人や強い目標を持った人がいないこと

Q：東京都出身だが群馬で営業をしようと思った理由。

A：前橋にお店がなくて敵がないから。

Q：お客さんを集める理由。

A：料理で表現し毎日違う料理を出すこと。

Q：年齢層は何歳からですか。

A：20代後半から40代。

女性をメインにお客さんを集めている。



自分たちが感じたことについて

・魅力

新しく若者が好きな食べ物の料理が多い所

・課題

商店街の表の方は栄えてきたが
商店街の裏に行くとシャッター街な所
若者が少ない所

・どうすればより良くなると思ったか
シャッター街を減らす

・私たちは前橋にこうなって欲しい！
若者が多く栄えた街になってほしい！

R6 まちなかりサーチ 報告書

作成：6組8班

インタビュー先：

琉球そば 知花

インタビュー先について：

「沖縄そば」

本場の味を前橋市で！！

インタビュー内容

Q：いまの前橋市に足りないことは何だと思えますか。

A：若い年齢の人が少ない。お祭りなどのイベント以外も開催することが大切。

Q：どういった前橋市が理想ですか。

A：若者の数が増えいつも賑わう前橋市。

Q：なぜ沖縄そばを前橋で始めようと思ったのか。

A：オーナーが沖縄に行った際沖縄そばを食べ、地元の前橋でお店を出したいと思ったから。

Q：どのような年齢層のお客さんが多いのか。

A：平日はサラリーマンの40～50歳くらいの方が多く、休日は家族連れのお客さんが多い。



自分たちが感じたことについて

・魅力

トイレが綺麗・交流の場がある・趣がある・道路が整備されている・衣食住が揃っている

・どうすればより良くなると思ったか

老若男女だれもが参加できるイベントを増やす

・課題

前橋市の若い人の人口が少ない
イベントがないと賑わいが無くなって
しまう

・私たちは前橋にこうなって欲しい！

常に人で賑わっている街
外国の方に興味を持ってもらえる街